

『日常の「なぜ」に答える物理学』 (森北出版, 2015) の訂正

2016.1.20 真貝寿明

このお知らせは、<http://www.oit.ac.jp/is/~shinkai/book/> にて更新しています。

初版2刷 (2016/1/15) には、現在のところ訂正・修正はありません。

場所	誤	正
----	---	---

初版1刷 (2015/10/1) について、たいへん申し訳ありませんが、次の訂正・修正があります。

場所	誤	正
p16 コラム 2	(最後) 有明月 (26 日)	有明月 (下旬)
p31 表 2.2	(通勤電車の加速度) 0.7~1.5	(通勤電車の加速度) 0.071~0.15
p83 傍注追加		(図 2.115 の下) 式 (2.70), (2.71) の \times 記号は、ベクトルの外積を表す。
p84 図 2.116	(矢印の下) 早	(矢印の下) 速
p122 4 行目	図 4.20 の温度 100%の線のよう	図 4.20 の湿度 100%の線のよう
p163 問 5.11	青色偏移	青方偏移
p177 図 5.79(a)	(図中) 実像, 虚像 (キャプション) 実像と虚像	(図中) 実物, 実像 (キャプション) 凸レンズの倒立実像
p178 図 5.80	(図中) 実像	(図中) 実物
p182 脚注		(国名説明に追記) 丁: デンマーク
p186 コラム 35	(7 行目) 240 時間連続できるが	240 時間連続運転できるが
p204 図 6.38	(図中) 積算電力系	積算電力計
p220 法則名	電流は, 磁場から力を受ける	電場と磁場は互いに電磁波として伝わる
p244 コラム 43		(最後に段落追記) なお, 最近の研究では, 超新星爆発のほかにも, 中性子星連星の合体現象でも重元素合成が可能であることがシミュレーションによって示されている。
p245 問 2.7 解答	経過時間 t は, $t = \dots = 2.0$ s. 第 2 式より, $v = 9.8 \times 2.0 = 19.6$ m/s.	経過時間 t は, $t = \dots = 1.42$ s. 第 2 式より, $v = 9.8 \times 1.42 = 14$ m/s.